

01誰もが快適に暮らせる都市機能が充実したまちへ（都市基盤）

施策名称		総括評価	今後の方向性
1 駅周辺・市街地の整備	B	石岡駅舎や東西自由通路について、バリアフリー化や耐震化の整備が完了し、駅周辺の利便性向上と賑わい創出に寄与しています。併せて、西口駅前広場とBRT駅前広場の整備により、東口利用者が大幅に増加し、西口駅前広場の混雑も解消されました。	駅西側の施設改修や駅東側の未利用地等を活用し、駅周辺の面的な整備を進める必要があります。
2 公共交通機関の充実	C	少子高齢化により、地域公共交通の重要性が見直されているものの、主要な移動手段は自家用車が多く、公共交通機関の利用者は減少しています。現在は乗合タクシー運行事業や代替バス運行事業に補助金を交付することで支援を行っていますが、公共交通利用者数を増やすため周知・広報活動の実施や他分野と連携した利用促進を図っていく必要があります。	既存の補助事業に加え、持続可能な交通網を形成するために、交通事業者及び近隣自治体等と連携し、利用促進と利用施設的环境整備を進めてまいります。
3 道路の整備	B	幹線道路の整備については、既に完了した2路線を除く4路線の用地買収及び改良工事を進めています。地方道路の整備についても、事業計画に基づき、効率的・効果的に事業を進めております。また、既存道路の改良・拡幅整備のほか、狭あい道路等の整備についても、限られた予算の中で必要性や緊急性の高い箇所から安全性の確保へ向けて整備を行っています。	道路の整備については、国や県の補助金等を活用しながら整備を目指すとともに、既存道路の改良・拡幅等についても、優先されるべき必要箇所を見極めながら、効率的に事業を推進します。
4 計画的な土地利用の推進	B	本市の将来像や目標、都市計画にかかわる基本的な方針を定めた石岡市都市計画マスタープランを平成28年度に策定し、続けて平成29・30年度の2箇年で石岡市立地適正化計画を策定しました。	マスタープランそして立地適正化計画を羅針盤として、安心安全で快適なまちづくりと効率的な土地利用に努めてまいります。
5 下水道の整備	B	生活排水ベストプラン(平成27年12月策定)に基づき、下水道の効率的な整備を進めています。また、下水道ストックマネジメント計画(平成30年3月策定)に基づき、下水道施設のストック調査、改築、長寿命化設計を行うことができました。	下水道の効率的な整備を進めると共に、ストック調査結果に基づき、計画的に下水道施設の改築、長寿命化を進めていきます。

01誰もが快適に暮らせる都市機能が充実したまちへ（都市基盤）

施策名称		総括評価	今後の方向性
6公園・緑地の整備	B	<p>公園施設の中で最も更新の需要が見込まれる遊具施設については、平成26年度より公園施設長寿命化計画に基づき工事を実施しました。また、平成30年度に計画の見直しを行いましたので、現在は新たな計画に基づき工作物などの長寿命化工事を実施しています。</p>	<p>公園の長寿命化は、公園施設長寿命化計画に基づき年次スケジュールで実施してまいります。里親やエンゼルパトロールについては、引き続きの募集を募り公園等の維持管理や防犯に努めてまいります。</p>
7住宅の整備	B	<p>市営住宅は令和元年度に策定した長寿命化計画に基づき、現在計画的な改善事業が進められています。</p> <p>また、高齢者世帯、子育て世帯、新婚世帯等、配慮すべき世帯の住居の安定のため、交通の利便性が高い石岡駅周辺の中心市街地に存する民間住宅を活用した家賃減額補助事業は、現在までの対象物件入居率が3～4割前後で推移しています。</p>	<p>市民が快適に安心して暮らせるためには、住宅の計画的な長寿命化や、民間住宅の効率的な活用等を通じて、暮らしやすい環境を整備することが重要であることから、今後も引き続き計画的な住宅施策を推進します。</p>
8地域に調和した景観の整備	B	<p>住民参加型まちづくりファンド支援事業は目標値を下回ったが、開発許可案件における完了検査率は目標を上回り、市内における適正な土地利用及び中心市街地や先導的な景観形成地区における修景事業の実施に関しては比較的高い水準を維持していることから、秩序ある良好な景観の保全に一定の成果を得ていると言えます。</p>	<p>目標に対する成果水準をより高くするには適切な行政指導と効率的な事業運営が求められることから、引き続き計画的な事業実施に努めます。</p>

令和2年度石岡みらい創造プラン施策評価シート

政策目標	01誰もが快適に暮らせる都市機能が充実したまちへ
基本施策	01 駅周辺・市街地の整備
具体的取り組み例	石岡駅周辺の整備・バリアフリー化，ステーションパークの充実

1 総括評価

進捗状況評価	B	総括評価
		石岡駅舎や東西自由通路について，バリアフリー化や耐震化の整備が完了し，駅周辺の利便性向上と賑わい創出に寄与しています。併せて，西口駅前広場とBRT駅前広場の整備により，東口利用者が大幅に増加し，西口駅前広場の混雑も解消されました。
	A 順調 B 概ね順調 C 遅れている D 見直しが必要	今後の方向性
		駅西側の施設改修や駅東側の未利用地等を活用し，駅周辺の面的な整備を進める必要があります。

2 主要事業の概要

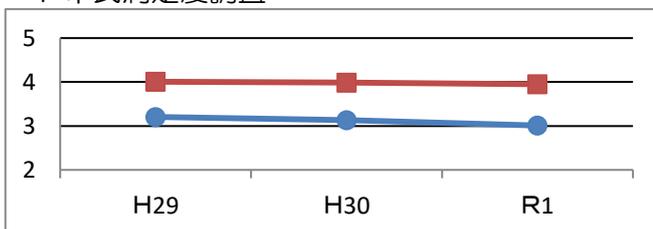
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
石岡駅周辺整備事業【都市計画課】	西口駅前広場やBRT専用駅前広場，JR石岡駅橋上化及び東西自由通路の完成と，石岡ステーションパークのリニューアル，飲食店舗の開設等により，駅周辺の利便性を高めることが出来ました。今後，駅西側の施設改修や駅東側の未利用地の整備を進め，駅周辺の賑わい創出とさらなる公共交通の利便性向上を図ります。
駐車場管理運営経費【都市計画課】	駅周辺の市営駐車場については，高齢化社会を踏まえ，ゆとりある駐車スペースの確保を図り，利用しやすい駐車場を目指します。

※主要事業は予算事業と一致していません。

3 成果指標

指標名	施策の説明	単位	初期値	目標値	R1 (実績値)
交通バリアフリー（特定旅客施設）整備率	駅周辺整備事業のバリアフリー化率	%	98.0 (H29)	100	98.00
東西自由通路の歩行者通行量	東西自由通路の歩行者数	人/日	7,498 (H29)	7,700	7,003
石岡市営駅東駐車場利用率	一日平均利用台数/駐車可能台数	%	75.1 (H29)	78	62.6

4 市民満足度調査



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成29年度調査	3.21	4.01
平成30年度調査	3.13	3.99
令和元年度調査	3.01	3.95

令和2年度石岡みらい創造プラン施策評価シート

政策目標	01誰もが快適に暮らせる都市機能が充実したまちへ
基本施策	02公共交通機関の充実
具体的取り組み例	乗合タクシーの運行，路線バスの運行補助

1 総括評価

進捗状況評価	C	総括評価
		<p>少子高齢化により，地域公共交通の重要性が見直されているものの，主要な移動手段は自家用車が多く，公共交通機関の利用者は減少しています。現在は乗合タクシー運行事業や代替バス運行事業に補助金を交付することで支援を行っていますが，公共交通利用者数を増やすため周知・広報活動の実施や他分野と連携した利用促進を図っていく必要があります。</p>
	A 順調 B 概ね順調 C 遅れている D 見直しが必要	今後の方向性
		<p>既存の補助事業に加え，持続可能な交通網を形成するために，交通事業者及び近隣自治体等と連携し，利用促進と施設の環境整備を進めてまいります。</p>

2 主要事業の概要

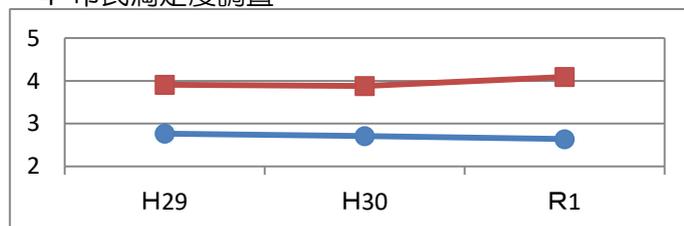
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
地域交通対策事業【都市計画課】	移動制約者への移動手段の提供はできています。運行方法や利用方法を検討し，情報誌等への広報をすることで，更なる利用促進を図る必要があります。また，経費の削減を踏まえつつ，住民と協力した利用促進活動の実施と効率的な運行を一緒に実施する必要があります。
通勤・通学支援事業【政策企画課】	住み続けながら通勤・通学できる環境整備を進めるとともに，市民に利用しやすい補助制度を構築していきます。

※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	施策の説明	単位	初期値	目標値	R1 (実績値)
市内主要公共交通機関利用者数	1日当りの市内主要公共交通機関利用者数	人/日	7,777 (H28)	8,000	7,789
通勤・通学に対する支援により転出抑制につながった人数 (累計)	支援制度利用者アンケートで，当該支援により市外への転出を思いとどまったとの回答者数	人	0 (H29)	50	38

4 市民満足度調査



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成29年度調査	2.77	3.91
平成30年度調査	2.71	3.88
令和元年度調査	2.64	4.09

令和2年度石岡みらい創造プラン施策評価シート

政策目標	01誰もが快適に暮らせる都市機能が充実したまちへ
基本施策	03道路の整備
具体的取り組み例	道路の改良，拡幅整備，維持管理，補修，上曽トンネルの整備

1 総括評価

進捗状況評価	B	総括評価	幹線道路の整備については、既に完了した2路線を除く4路線の用地買収及び改良工事を進めています。地方道路の整備についても、事業計画に基づき、効率的・効果的に事業を進めております。また、既存道路の改良・拡幅整備のほか、狭あい道路等の整備についても、限られた予算の中で必要性や緊急性の高い箇所から安全性の確保へ向けて整備を行っています。
		今後の方向性	道路の整備については、国や県の補助金等を活用しながら整備を目指すとともに、既存道路の改良・拡幅等についても、優先されるべき必要箇所を見極めながら、効率的に事業を推進します。
	A 順調		
	B 概ね順調		
		C 遅れている	
		D 見直しが必要	

2 主要事業の概要

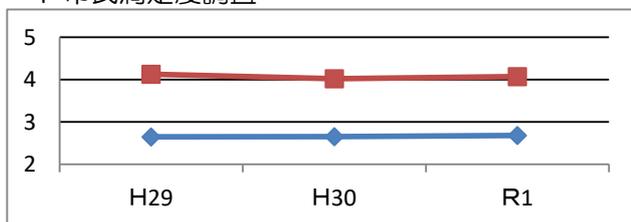
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
合併市町村幹線道路緊急整備支援事業【都市計画課】	合併支援道路を6路線整備しています。今後も補助金や交付金等を活用しながら、全体的な整備ではなく事業効果が上がる区間を重点的に整備していきます。
狭あい道路整備事業【建築住宅指導課】	本事業における狭あい道路の解消は局所的ですが、道路交通の安全が向上して居住環境が改善することにより、法令遵守に対する住民への周知、啓発に一定の効果が期待できるため、今後も継続して取り組みます。
地方道路等整備事業【道路建設課】	限られた予算の中で、事業計画に基づき効率的・効果的に事業を進めていきます。

※主要事業は予算事業と一致していません。

3 成果指標

指標名	施策の説明	単位	初期値	目標値	R1 (実績値)
道路整備率	合併支援道路整備率 (6路線)	%	45.5 (H28)	56	51.9
狭あい道路事業実施延長	拡幅整備した道路延長	m	184 (H28)	150	176
地方道路等整備延長	地方道路等整備事業による道路改良延長	m	14,027 (H29)	21,000	17,477
道路ストック点検実施延長	道路舗装修繕事業による整備延長	m	3,425 (H29)	4,125	4,125
狭あい道路待避所整備箇所数	狭あい道路待避所整備事業による整備箇所数	箇所	17 (H29)	34	18

4 市民満足度調査



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成29年度調査	2.65	4.13
平成30年度調査	2.65	4.02
令和元年度調査	2.68	4.07

令和2年度石岡みらい創造プラン施策評価シート

政策目標	O1誰もが快適に暮らせる都市機能が充実したまちへ
基本施策	O4計画的な土地利用の推進
具体的取り組み例	効率的な土地利用を誘導する取組

1 総括評価

進捗状況評価	B	総括評価
		本市の将来像や目標、都市計画にかかわる基本的な方針を定めた石岡市都市計画マスタープランを平成28年度に策定し、続けて平成29・30年度の2箇年で石岡市立地適正化計画を策定しました。
	A 順調 B 概ね順調 C 遅れている D 見直しが必要	今後の方向性
		マスタープランそして立地適正化計画を羅針盤として、安心安全で快適なまちづくりと効率的な土地利用に努めてまいります。

2 主要事業の概要

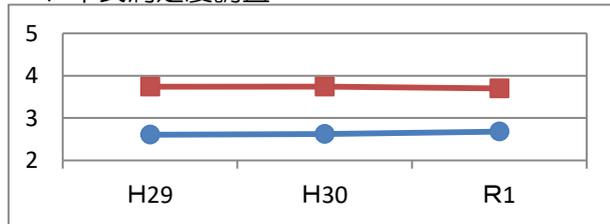
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
都市計画審議会経費【都市計画課】	都市計画の健全な発展と秩序ある整備を図るため都市計画法に基づく審議会であり、都市計画法、条例に基づき適正に運営していきます。
都市計画一般経費【都市計画課】	都市計画マスタープランに基づき、土地利用の効率化を進めていきます。屋外広告物に対する指導をさらに強化し、適切な設置を進めていきます。

※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	施策の説明	単位	初期値	目標値	R1 (実績値)
国土利用計画法に基づく事後届出の違反事案件数	提出期限後の届出等の違反事案件数	回	9 (H29)	2	10
市街化区域内土地利用効率	市街化区域内における都市的土地利用効率	%	80.7 (H28)	81	80.7

4 市民満足度調査



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成29年度調査	2.61	3.74
平成30年度調査	2.62	3.74
令和元年度調査	2.68	3.70

令和2年度石岡みらい創造プラン施策評価シート

政策目標	O1誰もが快適に暮らせる都市機能が充実したまちへ
基本施策	O5下水道の整備
具体的取り組み例	下水道の整備、下水道施設の計画的な改築、長寿命化、高度処理合併浄化槽の補助

1 総括評価

進捗状況評価	B	総括評価
		生活排水ベストプラン（平成27年12月策定）に基づき、下水道の効率的な整備を進めています。 また、下水道ストックマネジメント計画（平成30年3月策定）に基づき、下水道施設のストック調査、改築、長寿命化設計を行うことができました。
	A 順調 B 概ね順調 C 遅れている D 見直しが必要	今後の方向性
		下水道の効率的な整備を進めると共に、ストック調査結果に基づき、計画的に下水道施設の改築、長寿命化を進めていきます。

2 主要事業の概要

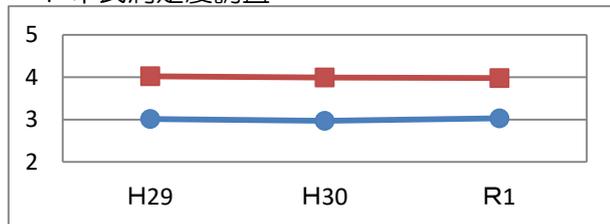
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
下水道事業会計（総括） 【下水道課】	現状を鑑み、下水道施設の整備計画の見直し、国庫補助金を活用したストック調査、改築（更新、長寿命化対策）等を効率的に取り組む必要があります。
農業集落排水事業会計（総括） 【下水道課】	継続した接続啓発、支援と共に、トータルコストの縮減や支出の平準化を図るため、補助事業を活用した施設の機能診断、最適化整備構想を策定し、改築（更新、長寿命化対策）、下水道等への統合（広域化）、業務効率化を図るため、料金賦課・収納事務等の委託（共同化）に取り組むことが必要です。

※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	施策の説明	単位	初期値	目標値	R1 (実績値)
生活排水処理総合普及率	処理区域人口／行政人口	%	84.8 (H29)	90	88.5
水洗化普及率 (下水道)	水洗化済人口／処理区域人口	%	85.4 (H29)	90	85.4
水洗化普及率 (農業集落排水)	水洗化済戸数／処理区域戸数	%	64.5 (H29)	66	69.5

4 市民満足度調査



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成29年度調査	3.01	4.02
平成30年度調査	2.97	3.99
令和元年度	3.03	3.98

令和2年度石岡みらい創造プラン施策評価シート

政策目標	01誰もが快適に暮らせる都市機能が充実したまちへ
基本施策	06公園・緑地の整備
具体的取り組み例	公園長寿命化計画に基づく維持管理，公園里親の募集

1 総括評価

進捗状況評価	B	総括評価
		公園施設の中で最も更新の需要が見込まれる遊具施設については，平成26年度より公園施設長寿命化計画に基づき工事を実施しました。また，平成30年度に計画の見直しを行いましたので，現在は新たな計画に基づき工作物などの長寿命化工事を実施しています。
	A 順調 B 概ね順調 C 遅れている D 見直しが必要	今後の方向性
		公園の長寿命化は，公園施設長寿命化計画に基づき年次スケジュールで実施してまいります。里親やエンゼルパトロールについては，引き続き募集し，公園等の維持管理や防犯に努めてまいります。

2 主要事業の概要

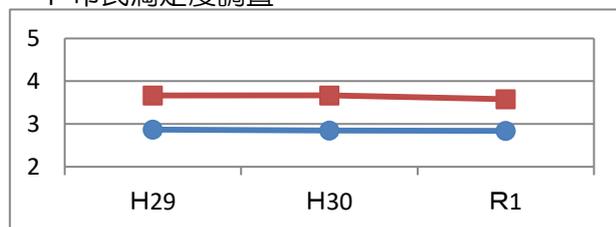
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
公園維持管理経費【都市計画課】	公園長寿命化計画を進めながら，予防保全型維持管理への転換を積極的に図ります。
桜づつみ維持管理経費【コミュニティ推進課】	利用者の安全と，機能保持のため計画的な補修が必要です。

※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	施策の説明	単位	初期値	目標値	R1 (実績値)
石岡市公園里親団体数	石岡市公園里親制度への加入団体数	団体	³ (H28)	3	10
石岡市公園施設長寿命化計画に基づく改築・更新公園数	石岡市公園施設長寿命化計画に基づき，改築・更新した公園数	箇所	⁰ (H30)	26	7

4 市民満足度調査



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成29年度調査	2.87	3.67
平成30年度調査	2.85	3.67
令和元年度調査	2.84	3.58

令和2年度石岡みらい創造プラン施策評価シート

政策目標	01誰もが快適に暮らせる都市機能が充実したまちへ
基本施策	07住宅の整備
具体的取り組み例	市営住宅の整備・改修，木造住宅耐震改修の促進

1 総括評価

進捗状況評価	B	総括評価
		<p>市営住宅は令和元年度に策定した長寿命化計画に基づき，現在計画的な改善事業が進められています。</p> <p>また，高齢者世帯，子育て世帯，新婚世帯等，配慮すべき世帯の住居の安定のため，交通の利便性が高い石岡駅周辺の中心市街地に存する民間住宅を活用した家賃減額補助事業は，現在までの対象物件入居率が3～4割前後で推移しています。</p>
A 順調 B 概ね順調 C 遅れている D 見直しが必要		今後の方向性
		<p>市民が快適に安心して暮らせるためには，住宅の計画的な長寿命化や，民間住宅の効率的な活用等を通じて，暮らしやすい環境を整備することが重要であることから，今後も引き続き計画的な住宅施策を推進します。</p>

2 主要事業の概要

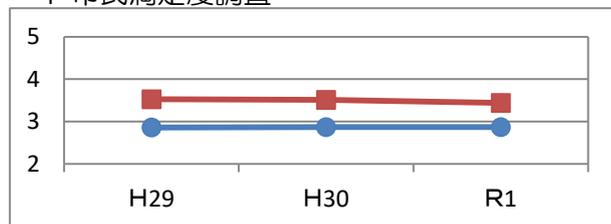
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
市営住宅長寿命化改修事業【建築住宅指導課】	長寿命化改修計画に基づき順次，改修工事を実施します。
木の住まい助成事業【建築住宅指導課】	定住人口の増加及び地域経済の活性化に一定の効果を期待できる事業であることから，事業継続が望ましいと考えます。
賃貸住宅ストック事業【建築住宅指導課】	民間賃貸住宅の活用について，市民への周知徹底を図るとともに，高齢者世帯や子育て世帯等の配慮すべき世帯の住居の安定に努めます。
住まいづくり推進事業【建築住宅指導課】	市外転入者に対する事業であり，主に若年者の定住人口増加に寄与する事業であることから，事業継続が望ましいと考えます。

※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	施策の説明	単位	初期値	目標値	R1 (実績値)
市営住宅長寿命化改修事業	改修棟数	棟	24 (H29)	30	30
ストック活用賃貸住宅入居世帯	制度活用により認定住宅に入居した世帯数	世帯	12 (H29)	30	10

4 市民満足度調査



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成29年度調査	2.86	3.53
平成30年度調査	2.87	3.51
令和元年度調査	2.87	3.44

令和2年度石岡みらい創造プラン施策評価シート

政策目標	01誰もが快適に暮らせる都市機能が充実したまちへ
基本施策	08地域に調和した景観の整備
具体的取り組み例	景観条例の適正な運用による良好な景観の保全，無秩序な宅地化や違反建築の防止

1 総括評価

進捗状況評価	B	総括評価
		住民参加型まちづくりファンド支援事業は目標値を下回ったが，開発許可案件における完了検査率は目標を上回り，市内における適正な土地利用及び中心市街地や先導的な景観形成地区における修景事業の実施に関しては比較的高い水準を維持していることから，秩序ある良好な景観の保全に一定の成果を得ていると言えます。
	A 順調 B 概ね順調 C 遅れている D 見直しが必要	今後の方向性
		目標に対する成果水準をより高くするには適切な行政指導と効率的な事業運営が求められることから，引き続き計画的な事業実施に努めます。

2 主要事業の概要

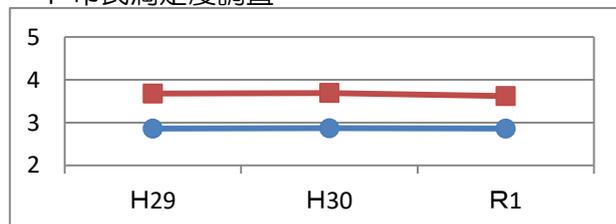
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
景観形成事業【都市計画課】	中心市街地や先導的な景観形成地区において，修景事業の実績が上がってきているため，今後も取り組みを推進してまいります。
宅地開発指導経費【建築住宅指導課】	現状の完了検査率は高い水準にあり，今後も引き続き完了検査受検に関する啓発を目的としたリーフレットの作成・配布や，電話・文書等による催促，現地パトロールを実施することにより，目標に対する達成水準の維持・向上に努めます。
建築指導事業【建築住宅指導課】	違法な建築行為の防止に一定の成果を得ており，上位目標の達成においても有効な事業であると考えられることから，引き続き適正な実施に努めます。

※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	施策の説明	単位	初期値	目標値	R1 (実績値)
住民参加型まちづくりファンド支援事業	事業の実施件数	件	1 (H29)	2	1
完了検査率	開発許可件数に対する完了検査の受検数	%	70.97 (H28)	85	89.47

4 市民満足度調査



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成29年度調査	2.86	3.68
平成30年度調査	2.87	3.69
令和元年度調査	2.86	3.62